

会 社，商 業，金 融

昭和24年2 800であつた本県の会社は年々増加し，昭和31年には2倍強の10 476社となり資本金は562千万円から1 057千万円となつた。しかし急増した多くの会社が御売及び小売業であり，資本金50万円以下の会社が56%を占め，個人企業を名義上の法人とした同族会社（有限会社）が多い。

本県の商業活動の状態をみると，店舗数は昭和31年調査では，31 125（飲食店を除く）を数える。郡部56%市部44%の割合となつており，これを商店密度（1平方料当り店舗数）でみると，市部12.2，郡部3.8となり，市街地に集中していることがわかる。さらに業種別にみると，飲食料品小売業が51%で最も多く，ついで，織物衣服及び身廻品小売業10%，家具建具及び什器小売業9%の順である。

これら商店に働く，従業者数は84 039人で，業主と家族従業者が54%で過半数を占め，重役，役員16%，常用労働者30%となつている。

つぎに月間売上高（31年6月中）をみると，10 487百万円であつて，一店舗当り347千円となる。前回（昭和29年）と比べ約5%の増加となつている。

県内主要金融機関の年末預金残高は644億円強で，前年同期より24%の増であり，一方貸出残高は346億強で，前年に比し6%の増加に止まつている。

県の貯蓄実績は，昭和31年192億円，目標額の132.1%に達した。